

産業振興施設「サンドーム福井」(1/2)

～サンドーム福井は「県民の方に親しまれ、利用される施設」を目指します～

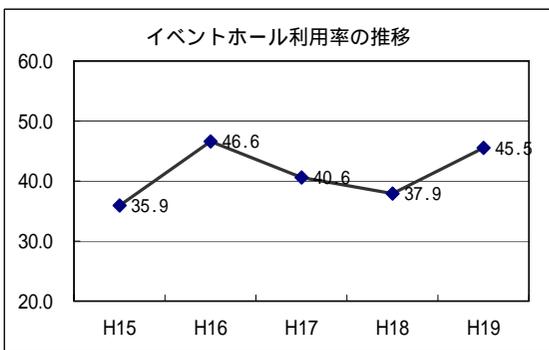
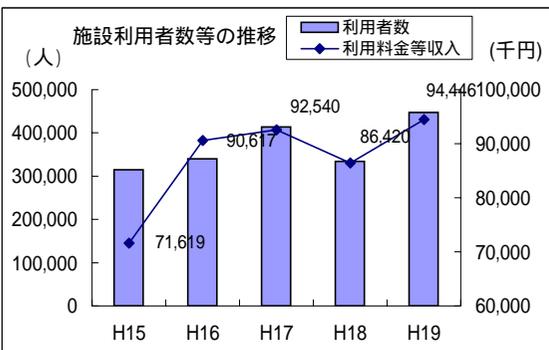
所在地	越前市瓜生町51-11		
設置年月日	平成7年7月29日		
施設の種類	貸館・貸室	施設管理主体	指定管理者 (財)福井県産業会館
設置の目的	産業の振興および地域の活性化に寄与する		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造・鉄骨造・地上3階、地下1階、建築面積16,019㎡、延べ床面積27,917㎡、イベントホール(展示面積1階約5,100㎡、2階約2,900㎡、天井高最大40m、電動可動席6,000席)、小ホール、会議室7部屋		
職員数	指定管理者職員(9人)		

利用状況等

	H15	H16	H17	H18	H19
利用者数(人)	314,950	340,166	413,805	334,000	447,460
イベントホール利用率(%)	35.9	46.6	40.6	37.9	45.5

利用者負担(利用料金)等

入館料	イベントホール(土日祝)	1,134,000円
	イベントホール(平日)	945,000円



利用状況の推移

- 平成15年度は、イベントホール利用率は35.9%となるとともに、越前・若狭の産業フェアなどの集客力が大きいイベントが開催されず、施設利用者数は314千人となりました。一方、平成16年度は、全国スポレク祭の開催などにより、イベントホール利用率は46.6%となりましたが、集客力の大きいイベントが少なかったため、施設利用者は340千人となりました。
- 平成18年度は、公的な大型イベントがなかった影響もあり、イベントホール利用率は、37.9%、利用者数は334千人となりました。
- 平成19年度は、食育推進全国大会などの公的イベントやコンサートなど集客力のある民間イベントが増加し、イベントホール利用率は45.5%、利用者数は447千人となりました。また、入場料を徴収するコンサート等のイベントが増加したことから、利用料金収入は94,446千円となりました。
- 平成19年度の利用者数は、開館当初のピーク時(平成8年度 720千人)に比べ、約62%となっています。

●「誘・遊・愉 おもしろフェスタinサンドーム福井」の開催

8月25日(土)・26日(日)に、はじめての自主企画イベントを開催!!
次代の本県産業界を担う子どもたちに、「理科(科学)」や「ものづくり」に対する関心を深めてもらうことを目的として、県内の学校・企業・団体等と連携して、化学実験教室や伝統工芸の体験、物産品の販売などのイベントを実施しました。

両日で9,000人が来場され、楽しい時間を過ごしていただきました。



●ギャラリーの無料貸出

県民の方に親しまれ、利用される施設となるための取組みとして、管理会議棟ギャラリーの無料貸出を行っており、保育園・幼稚園や学校、各種教室、産地組合などの作品発表の場として利用していただいています。

(作品展示に必要な場所・備品などを無料で提供しています)



●地場産業と連携した販促品の開発

地場産業製品等を使った販促品を製作し、サンドーム福井の利用促進のツールとして利用すると同時に県内地場産業のPRを行いました。



19年度の特徴について

事業実績

平成18年4月から、指定管理者に(財)福井県産業会館を指定し、新たな取組みを行っています。(委託期間 21年3月までの3年間、指定管理料総額 166,645千円)

- 県内の学校、企業、団体と連携し、「全国に誇る福井のものづくり技術の紹介・伝統工芸から未来技術まで」をテーマに、自主イベント「誘・遊・愉 おもしろフェスタinサンドーム福井」を開催しました。(2,494千円)
- 地場産業製品等を使った販促品を製作し、サンドーム福井の利用促進のツールとして利用すると同時に県内地場産業のPRを行いました。(3,045千円)
- ホームページでは、産業の振興と地域の活性化に寄与するため、県内伝統産業と観光情報提供のためのリンク集を製作しました。

[イベントホールの利用状況等]
丹南産業フェア、音楽コンサート、自動車展示会、スポーツ大会など、合計54件のイベントが開催されました。

産業振興施設「サンドーム福井」(2/2)

行政コスト計算書(平成19年度) (単位:千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%	0.0%
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	0.0%
物にかかるコスト	物件費	68,109	9.5%	94.4%
	維持補修費	0	0.0%	-
	減価償却費	650,560	90.5%	100.0%
	計	718,669	100.0%	99.5%
その他	公債費(利子)	0	0.0%	-
	その他	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
合計		718,669	100.0%	99.5%
収入	利用料等収入	2,930	0.4%	76.8%
	その他収入	0	0.0%	-
	一般財源	715,739	99.6%	99.6%

バランスシート(平成20年3月31日現在) (単位:千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	11,062,792	94.5%	固定負債	0	0.0%
うち土地	3,231,956				
うち建物	7,690,635				
投資等	0	-	流動負債	0	0.0%
流動資産	1,131	100.0%	正味資産	11,063,923	94.5%
計	11,063,923	94.5%	計	11,063,923	94.5%

主な指標 (単位:%、円/人)

	H19	H18	前年比
県民1人当たり有形固定資産額	13,568	14,303	94.9%
県民1人当たり将来負担額	0	0	-
世代間負担率	100.0	100.0	100.0%

バランスシート、行政コスト計算書の特色	<p>平成18年4月から指定管理者制度を導入した結果、施設の利用料金等が指定管理者の収入となり、その収入分を差し引いて委託しています。</p> <p>物件費は、委託料が減少したことから前年比5.6%減少しましたが、行政財産使用料収入が減少したため、一般財源ベースでは、前年比0.4%の減少、県民1人あたりのコストは、0.1%の改善と、ほぼ前年並みの実績となっています。</p> <p>建設時の起債償還が終わっており、職員配置もないことから、将来負担につながる負債がありません。</p> <p>貸館・貸室という施設の性質上、土地・建物を中心とした有形固定資産が資産の大部分を占めており、行政コスト全体の90%に上る減価償却費が県民1人あたりコストが高い水準にある要因です。</p>
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<p>自主イベントの開催や販促品の製作などを通して、「県民がより利用しやすい県有施設」の実現と、「産業の振興および地域の活性化に寄与する」という設置目的につながるような活動に努めています。(約6百万円)</p> <p>産業観光ギャラリーでは、「実は福井の技」企業への入れ替えを行なうなど、県内企業の製品展示、県内産業・観光情報の提供を行っています。(約2百万円)</p> <p>施設の点検・修繕を行うなど、施設の維持管理に努めています。(約52百万円)</p> <p>施設の利用促進を図るため、県内外を問わず幅広い営業活動を積極的に実施しています。また、広報誌「SANSAN」(年2回)や「催事案内」(毎月1回)の発行、メールマガジンの配信(毎月1回)など広報活動の強化に取り組んでいます。(約1百万円)</p>
今後の課題	<p>利用者数がピーク時の約6割に落ち込んでいるため、イベントホールの利用率を高めるなど、施設の効用を最大限に発揮することが必要です。</p>
今後の事業方針・取り組み内容	<p>本県の産業振興および地域の活性化、本県の知名度向上に寄与するため、施設の特徴を活かした展示会・見本市、全国大会などの集会、コンサートおよびスポーツイベントなどの誘致を関係団体および県内他施設などと連携を図りながら積極的に行っていきます。</p> <p>施設、設備の定期的な点検や早めの修繕を行い、大きな故障等の未然防止に努めるとともに、一層のコスト縮減を図ります。</p>

県民1人あたりのコスト負担の状況(円)

